

社会福祉法人翠燿会
平成 28 年度事業報告書

特別養護老人ホームグリーンヒル
グリーンヒル短期入所生活介護
グリーンヒル居宅介護支援事業
グリーンヒルデイサービスセンター
同上 サテライト南デイホーム
グリーンヒル訪問介護
グリーンヒル福祉タクシー

特別養護老人ホームグリーンヒル八千代台
グリーンヒル八千代台短期入所生活介護
グリーンヒル八千代台居宅介護支援事業
グリーンヒル八千代台小規模多機能型居宅介護
同上 サテライト勝田台
グリーンヒル八千代台訪問介護
グリーンヒル八千代台キッズルーム

障害児通所事業グリーンヒルキッズ

八千代市勝田台地域包括支援センター
介護予防支援事業

法人本部総務課

平成 29 年 5 月 24 日
社会福祉法人 翠燿会

平成 29 年度 事業計画総括方針案 (28 年度総括から)

社会福祉法人 翠燿会 理事長 津川 恵美子

平成 28 年度を振り返り、全体的に稼動も上がったりと下がったりと、安定的ではなかったという事が認識できる。職員の確保、利用者の確保、どちらも大変な時代に入ってきたことを感じる。職員確保については、新しい試みとして、昨年夏のベトナム訪問により、4名の若い女性をスタッフとして受け入れる予定である。勤務開始は9月の予定であり、今後毎年4名程度のベトナム人のスタッフを受け入れ可能か否かも見極めていくことになる。相変わらずの人材不足であり、また人材会社からしか、ほとんどスタッフが集まってこない現状である。その様な中で、職員はできることをコツコツと続けてくれたことを思う。

また、昨年は、介護報酬の多額の未請求分が発覚し、年度内に回収できたものの、チェックの甘さは反省すべき点であり、今後この様なことが二度と起きないように、担当職員は注意深く、確認を数名で行ってほしい。

昨年3月から開始した放課後等デイサービス「グリーンヒルキッズ」は、4～6月の利用児童1名、7月からは着々と登録が増え、平成29年度の4月からは登録20名となり、定員である10名程度の児童が毎日通ってくる予定である。この1年に市内にも数件の同業者が増えたが、他事業所とは一線を画している。グリーンヒルキッズは、内容的には実生活に本当の意味で役立つ「ソーシャルスキル」と「学習」を中心に進めており、市内でも一定の評価を得ているものと推察される。

利用児童が増えてきた昨年11月からは月に1回の「父母の会」を開始し、毎回7～8名のお母様方が参加して下さり、茶菓でなごやかな時間を過ごしている。お母様方にとっては、この2時間程度の茶話会が大きなサポートとなり、また、孤立しがちな母親同士を結びつける場となっており、会の終了後も連れ立ち昼食に向かう姿が見られる。

現在、(月)～(金)の稼動であるが、平成29年度は(土)も稼動できる方向で進めていきたい。また、絵画・音楽等、芸術的な内容も付加していきたいと考えている。

また、SST(ソーシャルスキルトレーニング)等の、講習会や講話なども年に数回開催していきたいと考える。

平成29年度4月より社会福祉法人の大改革が行われようとしている。今後、ますます社会福祉法人の役割が大きくなり、地域に向けた社会福祉法人ならではの活動が期待される。

今後については「子ども食堂」「学習支援」等を通して、社会福祉充実計画を実施していきたい。また、児童養護施設の公募がないとすれば、児童養護施設退園後の18～20歳の青年を受け入れ、サポートする自立援助ホームを設立し、社会的養護の必要な若者の未来をサポートしていきたいと考える。

そして、広義においては、高齢者、障害をもった方々、青少年とバリアフリーな居場所づくりを目指していきたい。

【平成 28 年度 特養グリーンヒル 事業報告】

1) 目標稼働に対する実働状況

- ・平成 28 年度における特養・短期の年間平均稼働数は、116.1（平均稼働率 96.7%）。目標値の 116 は達成する結果となりました。
- ・日常生活継続支援加算 I は要介護度 4・5 の算定要件において 70%以上を維持することで現在も加算取得中ではあるが、現在の入所待機者の方々からは算定要件の要介護度 4 以上（70%）、認知症度Ⅲ以上（65%）を満たすことが難しくなりつつあります。
- ・経口維持加算 I を約半数のご利用者から平成 28 年 10 月より算定。（月額約 20 万程度の利益）

2) 組織体制の強化

- ・ホスピタリティケアの取り組みについては、毎月のリーダー会議で現場での状況を報告し、ご利用者に安心して頂ける言葉使いや行動を次年度も啓蒙していきます。

3) 平成 28 年度の総括

- ・退所者数が 33 名（平成 10 年度に 21 名・平成 20 年度に 26 名）と年々増加傾向にある。要因の一つには重介護度の方々を受け入れていることもあり、今後も重介護度の入所を考慮すると年間の入退所者数は更に増加していくのではないかと考えています。
- ・現場のケアワーカーの確保は一番の課題であり、特に夜勤業務に於いては対応可能な職員が少ない為、過重負担となりつつある。

年間退所者・新規入所者・入院者内訳(過去3年間)

	グリーンヒル 看取り退所	医療機関 死亡退所	長期入院	在宅復帰	他施設	退所者合計	新規入所
平成26年度	6	9	4	1	1	21	26
平成27年度	9	16	3	0	0	28	28
平成28年度	10	16	7	0	0	33	35
	延べ人数	肺炎	骨折・脱臼	延べ日数			
平成26年度	58	25	4	1,383日			
平成27年度	47	20	5	1,355日			
平成28年度	36	10	3	1,235日			

H28年度グリーンヒル、グリーンヒル八千代台医務課事業報告

<グリーンヒル>

- ・H28年度の新入所者は35名であり、看取りを含め永眠された方は26名であり、1か月の平均入院数は3.2名であった。
- ・感染症は昨年度報告以降より、疥癬罹患者3名、ノロウイルス罹患者13名であった。
- ・疥癬は5月に第1回の終結を迎えたものの、8月に第2回、11月に第3回と繰り返し、12月の末に終結しその後発生はない。1人のご利用者が他のベットに横になっていた事、身体の中に潜伏していたダニが、体力の弱った時に悪さをし長期化したと考える。今後発生させない為には、環境整備と身体の清潔が必須と考える。
- ・ノロウイルスの13名という集団感染については、1つのユニット内で発生しており、早期の罹患者の隔離が不十分であったため、拡大したと考える。
- ・インフルエンザ罹患者がいないというのは、数年無かった事で、うがい・手洗いの予防の結果と考える。

<グリーンヒル八千代台>

- ・H28年度の新入所者は8名であり、看取りを含め永眠された方は7名であり、1か月の平均入院数は0.8名であった。入院0名の月が7か月間と健康管理が良く出来ていたと考える。
- ・感染症は、インフルエンザ・ノロウイルス共に罹患者は発生なく、本体同様予防の結果と考える。

<看護計画について>

- ・COMIチャート使用にての看護計画立案を2年間計画していたが、本体では情報の収集どまりで、計画立案まで到達していない。原因は「時間がない」との事。見直した結果今後は、標準看護計画を採用し、少しの事例でも計画立案を目指していく。

平成29年度 管理部栄養科 事業実績報告・事業計画案

グリーンヒル栄養管理室 グリーンヒル八千代台栄養管理室

栄養科の理念

- ・ご利用者の健康状態や身体状況に応じた栄養管理(栄養ケアマネジメント)サービスを多職種と協力して行い、個人にあったADLの維持・向上に努めます。
- ・ご利用者にふさわしく安全で質の高い食事サービスを提供します。

平成29年度
利用者食事摂取推奨量
(2015年版、日本人の食事摂取基準に準拠)

GH 平成29年 4月1日 現在	
エネルギー	1645kcal
蛋白質	61.7g

GH八千代台 平成29年 4月1日 現在	
エネルギー	1617kcal
蛋白質	60.6g

平成28、平成29年における
入所者の実態

平成28年度 グリーンヒル入所者				平成29年度 グリーンヒル入所者			
	男性	女性	平均		男性	女性	平均
入所者	26名	80名		入所者	25名	82名	
年齢	76.2歳	85.7歳	81.0歳	年齢	79.9歳	85.8歳	82.9歳
介護度	3.8	4.4	4.1	介護度	3.7	4.4	4.1

平成28年度 グリーンヒル八千代台				平成29年度 グリーンヒル八千代台			
	男性	女性	平均		男性	女性	平均
入所者	7名	22名		入所者	5名	24名	
年齢	86.0歳	83.8歳	84.9歳	年齢	82.6歳	85.6歳	84.1歳
介護度	4.4	4.4	4.4	介護度	4.6	4.3	4.4

平成28、平成29年における
食数実績・目標数

食数目標数		H29年度	食数実績	H28年度
グリーンヒル	利用者	135000食	利用者	134614食
	職員	13000食	職員	12585食
グリーンヒル 八千代台	利用者	50700食	利用者	50580食
	職員	7000食	職員	6980食
合計		205700食		204759食

特定給食施設の管理
フードサービス形態

給食業務完全委託方式

- ・災害時発生時の対応、マニュアルに準拠する
- ・食中毒発生時のマニュアル化に準拠する
- ・大量調理施設マニュアルに準じる
- ・衛生安全管理の維持徹底
- ・特別な個別膳 やわらか食(個人負担)
- ・保存食・保健衛生の実施(厨房内消毒4回/年・グリストラップ1回/年)

非常用食品の確保

- ・災害対策マニュアル(保有)
- ・天災害時の調理を必要としない食事サービスとして備蓄食品

- ・備蓄食品(非常用食品)の保管は汚染防止するための設備・コンテナ内に保管する。(資料 献立表 ㊦)

行事食

- ・施設諸行事に伴う食事支援
- ・施設内研修に伴う食事提供

- ・行事企画内容により別途料金徴収することもある。
- ・個別対応食(やわらぎ膳)は誕生日会費より個別充当
- ・職員、実習生、外来者への予定実施計画

会議

- 栄養委員会
 - ・給食会議(食事委員会と調整連絡)
 - ・NCM会議
 - ・経口維持 I、II 会議

グリーンヒル
定例 第3木曜日 午前9時30分～ 会議室
グリーンヒル八千代台
日時不定期 1回/月

栄養ケア・マネジメント

- 基本方針
 - I. NCMサービス
 - 4回/年スクリーニング実施
 - II. 経口維持実施
 - 経口移行 I、II
 - (医師・歯科医師による評価者)

- ①食事調査実施
 - ・食事喫食量・水分摂取量・排尿量記入表
 - ・生活と身体状況記録(介護・看護・栄養記録)
 - 内容 身体計測、摂取目標量、摂取状況調査項目、栄養アセスメント
 - *食事調査評は利用者の共有個別資料とする。(但し、持ち出し禁止、厳守)
 - ②低栄養状態の改善として、栄養計画による
 - ・食事・栄養管理、評価判定を行う。
 - ・低栄養状態の改善目標として、栄養強化食品を推奨する。(但し、個別管理品は個別負担とする)

給食経営管理

老人福祉施設 臨地実習実施

- ・聖徳大学人間栄養学部 3学年
- ・昭和女子大学生生活科学部 3学年

以上

平成 28 年度グリーンヒル居宅介護支援事業所事業報告

1. 目標件数に対する実働状況

- ・ 計画作成件数・・・予防 月平均 25.8 名
給付 月平均 83 名
- ・ 認定調査件数・・・150 件
- ・ その他 加算等があり
- ・ 地域別登録利用者人数（平成 29 年 3 月 31 日時点）

地域包括	要支援	要介護
大和田	8	12
勝田台	35	32
村上	2	32
阿蘇	0	7
八千代台	0	2
その他	0	4

2. 平成 28 年度総括

- ・ 平均計画件数は目標値達成できなかった。
→平成 27 年 12 月より療養していた山田課長補佐が平成 29 年 1 月より復職。人員体制が整ったため、受託可能と各地域包括及び病院の地域連携室に営業。新規ケース依頼は増えたものの、要支援者（総合事業対象者）が多かった。
- ・ 地域包括支援センターより困難（虐待・支援拒否・地域からの苦情）と思われるケース依頼があり、それぞれケースに合わせ八千代市長寿支援課・生活支援課・地域包括支援センターと連携し支援にあたっている。また地域資源開拓につながるよう努めている。
- ・ 認定調査は毎月定期的に受託している「八千代、佐倉、船橋」の他他市からの依頼を随時受けている。

平成28年度グリーンヒル通所介護事業報告

1】 28年度利用状況（本体通所介護）

- ・年間を通じて、1日平均利用26名を目標にサービスを行ってききましたが、目標人数には届かず、平均利用者数としては23名程度となりました。他事業所のケースを増やすべく、相談員などが事業所を訪問し当事業所の説明等々を行ったりすることで、新規ご利用者も年間25名ほど利用いただきましたが、それ以上にサービス終了となってしまう方が多かったこともあり、利用者の登録人数を増やすにはいたらなかった。提供するプログラムなども検討し、個別リハビリや専門職によるプログラムなど、様々なプログラムを提供できたことは、皆さんに選んで頂いた要因とも感じています。

（サテライト南デイホーム）

- ・年間の目標として、1日7名を目標として行ってきましたが、平均4名程度と、目標を達成することはできなかった。
一年を通じて、新規の利用者が2名しかなく、見学などのお問い合わせは数件あるものの、利用には繋がらないケースが多く、少人数民家型のデイサービスの難しい部分が感じられた。

29年度の目標

- ・29年度も、1日平気26名を目標とし、新規利用者の獲得、登録人数の増加を念頭に、受け入れの窓口を広げ利用者獲得に勤める。
また、5月より医療職の体制が整い中重度者体制加算を算定できたことで加算収入も増える事や、平成30年の介護保険法改正に向け、提供時間の変更を検討事項とし行っていく。

平成28年度グリーンヒル訪問介護事業報告

【1】28年度の状況

28年度は、当初、月90人目標としていましたが、常勤ヘルパーの退職や、怪我での長期休業などでなかなか新規の方を受けきれない状況であり、実際の平均実績人数として、月80名程度となってしまった。新規利用者の受け入れはしつつも、サービス回数の多い方などは、なかなか予定が取れず、受けきれない状態でもあった。

目標としていた職員研修の充実については、福永理学療法士のご協力を得られ、3回の実技指導の時間を設けました。参加者からも、普段そういった研修の機会が少ないので勉強になったとの声があった。

【2】29年度の目標

29年度においては、現状職員の増員も考えられず、登録ヘルパーの年齢問題もあり、今年度の目標値としては、月の目標を80名として職員全体で取り組んでいきたいと考えています。今年度においても、登録ヘルパーなどの補充を考えたいと思います。毎月行っているヘルパー研修も、実技指導や講義の時間を多く取り、充実させていく予定です。

平成 28 年度
事業実績報告書



社会福祉法人 翠 燿 会

高齢者複合ケア施設
グリーンヒル八千代台

1. 本施設の特徴（地域密着型）について

平成18年4月1日改正介護保険法により創設された、※日常生活圏域（グリーンヒル八千代台は、八千代台圏域により指定）という区域で提供される介護サービスで、特に認知症や要介護度の高い高齢者を主たる対象に、住み慣れた地域、自宅での生活を継続できるように支援を目指す制度。

2. 建物立地等の概要について

1) 八千代市について

千葉県八千代市は、千葉県の北西部に位置し、千葉市中央から北に13km、船橋市から東に11kmのところのところに位置する。地勢は平坦な台地で、標高は高い所で、30m程度、地表は関東ローム層に覆われ、市域の中心部を南北に「新川」（印旛沼放水路）が流れている。市の木：「ツツジ」、市の花：「バラ」、生産品の代表は「梨」。

2) 隣接している自治体について

千葉県習志野市、（習志野第1空挺団、野球・吹奏楽部等活躍する習志野市立習志野高等学校が所在）。

千葉県千葉市花見川区、（県道幕張八千代線を京葉道路方面へ。その先美浜区には、幕張メッセ、千葉ロッテマリーンズの本拠地[ZOZOマリンスタージアム]が所在）。

3) 本施設について

住 所 千葉県八千代市八千代台西 7-2-69

敷地面積 2,148.77㎡

延床面積 2,137.14㎡

建物造り 鉄筋コンクリート造り 3階建

開 設 平成19年10月 1日 : 法人本部施設と同開設日

交 通 電車：京成電鉄「八千代台駅」下車、西口より徒歩7分

車輻：県道幕張八千代線から、右左折30秒弱

住宅環境 八千代台地域は、千葉県の歴史に残る「八千代台団地発祥の地」にあり、住宅都市機構が近年整備したアミティ八千代台等の団地住宅地に隣接。

地 域 西南に「八千代市立八千代台西小学校」、「八千代台中学校」、「八千代台西保育園」が隣接。

買物施設 東習志野には、イオンモール店、八千代台駅西口に「アピア等（旧八千代デパート）」他商店街。八千代台東口には、FMラジオのベイFM78のCM「ユアーエルム」等の商店街が立地する。

3. 高齢者複合ケア施設構成事業所と事業経過について

【1】特別養護老人ホーム（指定地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護）

定員： 29名 完全個室ユニット型

利用： 要介護3から5の介護認定を受けている方

限定： 八千代市に住民票登録のある方（他市町村の住民票登録の方は、利用できません）又、要支援者は、利用できません。

内容： 地域密着型サービス計画に基づき、可能な限り居宅における生活への復帰を念頭において、入浴、排泄、食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与その他日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行うことにより、入所者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにすることを旨とするものであり、常に運営の向上に努めなければならない。

□ 特別養護老人ホーム利用者状況 □

【1】男女別在籍状況（定員29名）（平成29年 3月31日現在）

男 性	女 性	計
5名	24名	29名

【2】年齢別状況（平成29年 3月31日現在）

性別 \ 年齢	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳
男 性	0名	0名	0名	1名
女 性	0名	0名	1名	4名
計	0名	0名	1名	5名
性別 \ 年齢	80～84歳	85～89歳	90歳～	総計
男 性	3名	1名	0名	5名
女 性	3名	9名	7名	24名
計	6名	10名	7名	29名

平均年齢 85.2歳

(男性平均82.6歳)

(女性平均85.7歳)

最高齢 97歳(女性) 最小齢71歳(女性)

平均入所期間 30.2月

(男性平均13.8月)

(女性平均33.6月)

【3】 要介護度別状況

(平成29年 3月31日現在)

性別\区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0名	0名	0名	2名	3名	5名
女性	0名	0名	3名	11名	10名	24名
計	0名	0名	3名	13名	13名	29名

年平均介護度 4.3

【4】 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)(平成29年3月31日現在)

区分	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
男性	0名	0名	0名	1名	0名	3名	0名	1名
女性	1名	2名	1名	2名	4名	8名	4名	2名
計	1名	2名	1名	3名	4名	11名	4名	3名

【5】 認知症高齢者の日常生活自立度

(平成29年3月31日現在)

区分	I	II	IIa	IIb	III	IIIa	IIIb	IV	M	自立
男性	0名	0名	0名	1名	0名	3名	1名	1名	0名	0名
女性	1名	0名	0名	3名	0名	3名	7名	6名	3名	0名
計	1名	0名	0名	4名	0名	6名	8名	7名	3名	0名

【6】 月別入所者の状況(平成28年4月1日から平成29年3月31日)

性別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
計	1名	0名	1名	0名	1名	1名
性別\月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計	0名	1名	0名	1名	2名	0名

平成28年度間の入所者数 : 計 8名

【6】 -2 月別退所者の状況(平成28年4月1日から平成29年3月31日)

性別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
計	0名	0名	1名	0名	1名	1名
性別\月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計	0名	1名	1名	1名	1名	0名

平成28年度間の退所者数 : 計 7名

【7】 月別平均入所者数（平成28年4月1日から平成29年3月31日）
（短期入所生活介護含む）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
総数	39.0	38.3	38.2	38.9	39.0	39.0	38.4
月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
総数	38.9	39.0	38.6	39.0	39.0		

【8】 月別医療機関への入院加療状況（平成28年4月1日から平成29年3月31日）

数	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入院者数		2名	1名	2名	3名	1名	1名
入院日数		31日	31日	41日	42日	31日	3日
数	月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院者数		3名	3名	1名	1名	2名	0名
入院日数		29日	51日	6日	4日	44日	0日

入院者延数：20名 入院延日数：313日

【9】 入所前住居状況（平成29年 3月31日現在）

性別	地区	八千代台東	八千代台西	八千代台南	八千代台北	高 津
男 性		0名	1名	0名	2名	0名
女 性		4名	7名	1名	3名	0名
計		4名	8名	1名	5名	0名
性別	地区	大 和 田	大和田新田	勝 田 台	村 上	上 高 野
男 性		0名	0名	1名	0名	0名
女 性		0名	2名	3名	0名	0名
計		0名	2名	4名	0名	0名
性別	地区	ゆりのき台	萱 田	米 本		
男 性		0名	0名	1名		
女 性		2名	1名	1名		
計		2名	1名	2名		

【10】 施設退所者状況（看取り介護者 4名）（平成29年 3月31日現在）

性別	区分	在宅復帰	長期的入院	逝 去	計
男 性		0名	3名	2名	5名
女 性		0名	0名	2名	2名

【2】小規模多機能型居宅介護（指定小規模多機能型居宅介護）

定員：登録定員29名 1日あたりの通いサービス利用18名

利用：要介護1から5の介護認定を受けている方

限定：八千代市に住民票登録のある方（他市町村の住民票登録の方は、利用できません）又、当事業所の「通い」「泊まり」「訪問」のサービス提供に同意を示された方）、要支援者は、利用できません。

内容：小規模多機能型居宅介護サービス計画により、通いを中心として、
目的 利用者の態様や希望に応じて、訪問や泊まりを組み合わせるサービスを提供することにより、利用者の居宅における生活の継続を支援する。

□ 小規模多機能型居宅介護利用者状況 □

（本体：グリーンヒル八千代台）

【1】 男女別利用者状況（平成29年 3月31日現在）

男 性	女 性	計
8名	21名	29名

：登録定員29名

【2】 年齢別状況（平成29年 3月31日現在）

性別 \ 年齢	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳
男 性	0名	0名	0名	2名
女 性	0名	1名	1名	3名
計	0名	1名	1名	5名
性別 \ 年齢	80～84歳	85～90歳	90歳～	総計
男 性	3名	2名	1名	計 8名
女 性	2名	10名	4名	計 21名
計	5名	12名	5名	計 29名

平均年齢84.3歳 最高齢98歳 女性
最少齢68歳 女性

【3】 介護度別利用者状況（平成29年 3月31日現在）

性別 \ 区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男 性	3名	3名	2名	0名	0名	8名
女 性	5名	5名	6名	2名	3名	21名
計	8名	8名	8名	2名	3名	29名

年平均介護度 2.4

【4】 利用者住居状況

(平成29年 3月31日現在)

性別 \ 地区	八千代台東	八千代台西	八千代台南	八千代台北	高 津
男 性	2名	3名	1名	1名	0名
女 性	4名	2名	1名	6名	3名
計	6名	5名	2名	7名	3名
性別 \ 地区	高 津 東	大和田新田	勝 田 台		
男 性	0名	0名	1名		
女 性	1名	2名	2名		
計	1名	2名	3名		

【5】 月別利用者状況 (平成28年4月1日から平成29年3月31日)

性別 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月末登録者数	28	29	28	29	28	29
訪問週平均	2.6	2.34	2.78	2.89	2.78	2.54
通い週平均	3.05	2.7	2.96	2.77	2.89	2.76
泊まり週平均	0.91	0.91	0.85	0.8	0.59	0.96
利用回数計	808	735	792	817	807	776
一人当り週回数	6.56	5.96	6.6	6.48	6.26	6.27
新規利用者	1	2	0	1	2	1
中止利用者	2	1	1	0	3	0
平均介護度	2.4	2.4	2.4	2.3	2.5	2.6
性別 \ 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末登録者数	28	29	29	29	29	29
訪問週平均	3.26	3.39	3.63	3.13	3.76	3.99
通い週平均	2.82	2.64	2.68	2.56	2.77	3.07
泊まり週平均	0.89	0.95	1.31	0.64	0.42	0.35
利用回数計	864	863	930	809	808	954
一人当り週回数	6.99	7	7.62	6.33	6.96	7.42
新規利用者	2	2	6	3	1	0
中止利用者	3	1	6	3	1	0
平均介護度	2.6	2.6	2.5	2.4	2.5	2.4

月末登録者数 (年度平均) 28.67人
 訪問回数 (年度週平均) 3.09回
 通い回数 (年度週平均) 2.80回
 泊まり回数 (年度週平均) 0.79回

【2】-2 小規模多機能型居宅介護サテライト（指定介護・予防）

定員： 登録定員12名 1日あたりの通いサービス利用 6名

利用： 要支援1・2の介護認定を受けている方

要介護1から5の介護認定を受けている方

限定： 八千代市に住民票登録のある方、又当事業所の「通い」「泊まり」「訪問」のサービス提供に同意を示された方。

内容： 本体（グリーンヒル八千代台）の内容目的に同じ。

目的

□ 小規模多機能型居宅介護サテライト利用者状況 □

（サテライトグリーンヒル勝田台）

【1】 男女別利用者状況 (平成29年 3月31日現在)

男 性	女 性	計
1名	11名	12名

：登録定員12名

【2】 年齢別状況 (平成29年3月31日現在)

性別 \ 年齢	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳
男 性	0名	0名	0名	0名
女 性	0名	0名	1名	2名
計	0名	0名	1名	2名
性別 \ 年齢	80～84歳	85～90歳	90歳～	総計
男 性	1名	0名	0名	計 1名
女 性	3名	4名	1名	計 11名
計	4名	4名	1名	計 12名

平均年齢83.0歳 最高齢90歳 女性

最少齢74歳 女性

【3】 介護度別利用者状況 (平成29年3月31日現在)

性別 \ 区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男性	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名
女性	0名	3名	3名	4名	1名	0名	0名
計	0名	3名	4名	4名	1名	0名	0名

平均介護度 1.5

【4】 利用者住居状況

(平成28年3月31日現在)

性別 \ 地区	勝田台	勝田台南	八千代台		
男性	1名	0名	0名		
女性	6名	1名	4名		
計	7名	1名	4名		

「要支援認定者」の利用により、住居地が点在

【5】 月別利用者状況 (平成27年4月1日から平成28年3月31日)

性別 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月末登録者数	12	12	12	12	11	12
訪問週平均	6.08	6.15	6.96	6.26	5.29	5.07
通い週平均	2.35	2.42	2.1	1.9	1.5	1.94
泊まり週平均	0	0.11	0.03	0	0.31	0
利用回数計	434	462	468	434	366	361
一人当たり週回数	8.43	8.69	9.09	8.16	7.17	7.01
新規利用者	1	0	0	1	0	1
中止利用者	1	0	0	1	1	0
平均介護度	1.6	1.6	1.6	1.0	1.2	1.2
性別 \ 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末登録者数	12	12	12	12	12	12
訪問週平均	4.83	5.67	4.94	4.79	5.18	5.81
通い週平均	1.84	1.71	1.88	1.63	1.87	2.25
泊まり週平均	0	0.09	0	0	0	0
利用回数計	355	385	363	342	339	429
一人当たり週回数	6.68	7.48	6.83	6.43	7.06	8.07
新規利用者	0	1	0	0	0	0
中止利用者	0	1	0	0	0	0
平均介護度	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.4

月末登録者数 (年度平均) 11.92人

訪問回数 (年度平均) 5.58回

通い回数 (年度平均) 1.94回

泊まり回数 (年度平均) 0.04回 (本体にて)

【3】短期入所生活介護（一般型）

定員： 10名

利用： 要介護1から5の介護認定を受けている方

地区： 八千代市、習志野市、千葉市花見川区 他

内容： 介護者の冠婚葬祭、休養、外出等 1日から30日の利用等あり

□ 短期入所生活介護の利用者状況 □

【1】 短期入所生活介護利用者状況 (平成29年3月31日現在)

性別 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延日数	335	322	330	351	344	304
性別 \ 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延日数	324	354	322	340	327	313

延日数：4,543日

【4】居宅介護支援

定員： グリーンヒル八千代台への相談者等

利用： 要介護1から5の介護認定を受けている方

介護予防支援事業一部業務委託（八千代台、勝田台地域包括支援センター）

地区： 八千代市、習志野市、千葉市花見川区 他

内容： アセスメント（課題分析）による、ケアプランの作成等居宅支援サービス。

□ 居宅介護支援の利用者状況 □

【1】 要介護度別支援状況 (平成29年3月31日現在)

性別 \ 区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
計	24名	34名	17名	9名	6名	90名

【2】 月別利用者状況 (平成28年4月1日から平成29年3月31日)

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規利用者	9	3	0	4	6	4
休・中止者	3	6	5	3	3	2
区分 \ 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規利用者	2	1	0	7	7	4
休・中止者	4	6	4	4	4	3

【5】訪問介護

定員： グリーンヒル八千代台への個人、事業所からの相談等

- 利用： 1) 要支援1、2の介護認定を受けている方
 2) 要介護1から要介護5の介護認定を受けている方
 3) 生活保護認定を受けている方

地区： 八千代市内

内容： 地域包括支援センターからの相談、居宅介護支援事業所より相談の居宅サービス計画に基づき、サービス担当者会議で検討されたサービス内容を事業所の提供する「訪問介護サービス計画」を作成し、その計画書に基づき介護サービスを提供すると共に、居宅生活を継続するための支援を行う。

□ 訪問介護の利用者状況 □

【1】 要介護度別支援状況（平成28年4月1日から平成29年3月31日現在）

性別区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要支援者	20名	19名	19名	18名	18名	18名
総合事業者	—	—	—	—	—	—
新規利用者	0	0	0	0	0	0
休・中止者	0	1	0	1	0	0
計	20名	19名	19名	18名	18名	18名
要介護者	24名	23名	23名	22名	20名	21名
新規利用者	1	1	2	0	0	1
休・中止者	1	2	2	1	2	0
計	24名	23名	23名	22名	20名	21名
性別区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援者	19名	18名	16名	16名	14名	12名
総合事業者	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
新規利用者	1	1	1	1	1	1
休・中止者	0	2	3	1	3	3
計	26名	23名	19名	19名	18名	20名
要介護者	23名	22名	26名	23名	22名	25名
新規利用者	2	0	5	1	0	3
休・中止者	0	1	1	4	1	0
計	23名	22名	26名	23名	22名	25名

10月以降の要支援者新規利用者は、総合事業者の（ ）書きと同じ

【6】保育室

(平成28年4月1日から平成29年3月31日現在)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
幼児	98名	92名	99名	99名	90名	118名
兄弟姉妹	41名	28名	23名	39名	94名	19名
月計	139名	130名	121名	138名	184名	137名
区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幼児	136名	129名	113名	107名	108名	144名
兄弟姉妹	16名	22名	37名	17名	7名	30名
月計	152名	151名	150名	124名	115名	174名

【平成 28 年度 事業報告】

グリーンヒル八千代台 特別養護老人ホーム・短期入所生活介護

1. 目標稼働(平成 28 年度)の達成状況 (○数字は H28 事業計画の原文)

- ①稼働率(長期+短期):「月 38 名以上の稼働」「年間稼働率 98%目標」
⇒【達成】月平均 38.8 名 年間稼働率 99.5%
- ②日常生活継続支援加算の算定継続(46 単位/日:ユニット型個室)
⇒【達成】下記要件を算定根拠とし継続。
 - ・新規入所者の内(前 12 ヶ月)介護度 4・5 の割合:70%以上
 - …年平均 93.3% (平均介護度 4.3)⇒【達成】介護福祉士の資格取得者の保有割合
- ③看取り介護加算の算定継続
(死亡日 1,280 単位/前日及び前々日 680 単位/4 日以上 30 日以下 144 単位)
⇒【達成】別添資料参照。同意書・プラン・経過記録・振り返りを実施。
- ④経口維持加算Ⅰの算定(400 単位/月)
⇒【達成】25 名(Ⅰ:22 名 Ⅰ及びⅡ:3 名)※自立者:1 名 経管者:3 名
- ⑤アセスメント・カンファレンス・ケアプラン・モニタリングの強化
⇒【達成】ブルーオーシャンシステムにより作業効率が向上。各専門計画書の個別化、横断的な施設サービス計画書の運用
⇒【未到達】介護計画書の運用およびアセスメント・プラン勉強会
- ⑥経管栄養者数:上限 6 名(短期入所者は別)
⇒【達成】現在 3 名
- ⑦介護保険負担限度額認定者数:12 名
⇒【達成】年平均 10 名で推移(H29.3 月:2 段階(1 名)・3 段階(9 名))

2. 今年度の実績

- ①義務教育教員免許志願者に対する「介護等体験」の受け入れ。
 - ・自分たちのケア方法、接遇における振り返りの機会となった。
- ②経口維持加算Ⅰ/Ⅱの算定
 - ・管理栄養士を中心とした多職種協働での取り組みを実施。東京歯科大および訪問歯科より専門的な指示指導・助言を下に経口維持計画書を作成し運用。
- ③地域の方々を交えての防災訓練(施設)(避難誘導訓練・消火訓練)を実施。
 - ・地域の方々(運営推進会議構成員、西北支会等)へ参加協力を仰ぎ、施設内での火災を想定した避難誘導(方法確認)・消火(体験)・非常食提供方法(実食)等について、客観的な振り返りを頂く。各方法・必要物品等、また発生時の協力依頼事項を確認する事ができた。

3. 次年度の課題

以下 3 点に課題(取り組み不十分)が残ったため、目標として掲げ、改善に取り組みたい。

- ①その人らしさの介護(私たちの介護)に専門性とプライドを持つことができる。
 - ・ユニットケアや認知症ケアなどの知識を深める。

・医療や栄養、機能訓練などの知識を、専門職との協働でケアに反映することができる。

②ケアの根拠を理解しチームで共有することができる。

・アセスメント・ケアプラン・24時間シート・介護計画書・各種記録などを多職種で活用し、ケアの根拠を説明することができる。

③その人らしさの介護（私たちの介護）を振り返ることができる。

・「その人の目標に対する評価」と「法人理念・事業計画・各ユニットケア理念」の両輪により、評価と振り返りを行うことができる。

4. 平成28年度の特養・短期の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年
月末利用登録者	29	29	29	29	29	29	29	29	28	28	29	29	28.83
入所延日数	868	899	858	899	899	870	899	865	894	863	810	899	10523
入院延日数	31	31	41	42	31	3	29	51	6	4	44	0	313
利用実日数	835	866	817	855	867	866	869	814	888	858	762	899	10196
1日平均利用者数	27.8	27.9	27.2	27.6	28.0	28.9	28.0	27.1	28.6	28.3	26.3	29.0	27.90
平均介護度	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.32
(介護度4・5割合)70%	100.0%	100.0%	96.5%	96.5%	96.5%	93.1%	89.6%	89.6%	89.2%	89.2%	89.6%	89.6%	93.3%
新規入所者数	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	2	0	8
(内介護度4以上)	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	6
(内認知度Ⅲ以上)	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	5
退所者数	0	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	7
負担限度額認定者	10	10	10	10	10	11	11	11	11	10	10	10	10.33
短期請求件数	21	22	20	18	23	23	19	23	20	22	20	20	
短期入所延日数	335	322	330	351	344	304	324	354	322	340	327	313	3966
特養・短期合計延日数	1,170	1,188	1,147	1,206	1,211	1,170	1,193	1,168	1,210	1,198	1,092	1,212	14,165
特養・短期1日平均数	39.00	38.32	38.23	38.90	39.06	39.00	38.48	38.93	39.03	38.65	39.00	39.10	38.81
稼働率	100.0%	98.3%	98.0%	99.8%	100.2%	100.0%	98.7%	99.8%	100.1%	99.1%	100.0%	100.2%	99.51%
前年度稼働率	99.9%	99.9%	96.4%	100.0%	100.0%	97.9%	98.2%	97.5%	97.4%	97.8%	96.4%	100.2%	98.50%
前年度との比較	0.1%	-1.6%	1.6%	-0.2%	0.2%	2.1%	0.5%	2.3%	2.7%	1.3%	3.6%	0.0%	1.01%
介護福祉士取得(非常勤含む)	21/5	21/5	21/5	21/5	21/5	21/5	21/5	21/5	21/5	21/5	21/5	21/5	

6. 平成28年度のグリーンヒル八千代台の特養・短期の報告

平成28年度のグリーンヒル八千代台の特養・短期の報告

平成28年度の稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
月末利用登録者	29	29	29	29	29	29	29	29	28	28	29	29	2883
入所延日数	868	899	858	899	899	870	899	865	894	863	810	899	10523
入院延日数	33	33	41	44	32	4	30	51	6	5	45	0	324
利用実日数	835	866	817	855	867	866	869	814	888	858	765	899	10199
1日平均利用者数	27.8	27.9	27.2	27.6	28.0	28.9	28.0	27.1	28.6	27.7	27.3	29.0	27.94
平均介護度	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.3	4.31
(介護度4・5割合)70%	100.0%	100.0%	96.5%	96.6%	96.6%	93.5%	89.6%	89.5%	89.6%	89.2%	86.3%	86.3%	92.8%
退所者数	1	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	8
新規入所者数	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	2	0	8
内の介護4・5以上	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0.50
内の認知度Ⅲ以上	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	6
負担限度額認定者	10	10	10	10	10	11	11	11	11	11	10	10	1042
短期請求件数	21	21	20	18	22	20	19	23	20	22	19	20	245
短期入所延日数	335	322	330	351	344	304	324	354	322	340	327	313	3966
特養・短期合計延日数	1170	1188	1147	1206	1211	1170	1193	1188	1210	1198	1092	1211	14164
特養・短期1日平均数	39.00	38.32	38.23	38.90	39.06	39.00	38.48	38.93	39.03	38.65	39.00	39.06	38.81
稼働率	100.0%	98.3%	98.0%	99.8%	100.2%	96.8%	98.7%	99.8%	100.1%	99.1%	100.0%	100.2%	99.24%
前年度稼働率	99.8%	99.8%	98.3%	99.8%	98%	94.9%	100%	95.9%	98.1%	100.1%	100.1%	100.0%	98.88%
前年度との比較	0.2%	-1.5%	-0.3%	0.0%	2.6%	1.9%	-1.3%	3.9%	2.0%	-1.0%	-0.1%	0.2%	0.36%
介護福祉士取得(非営働含む)	23/5	23/5	23/5	24/5	24/5	24/5	25/5	25/5	25/5	25/5	25/5	25/5	

資料

第1表 稼働率など(前年度比)

	LS	LS+SS	新LS	LS退	介護度(4・5割合)	限度認定	稼働率
平成27年度	27.9	38.7	11	10	4.4(99.4%)	10/29名	99.23%
平成28年度	28.8	38.8	8	7	4.3(99.6%)	10/29名	99.48%

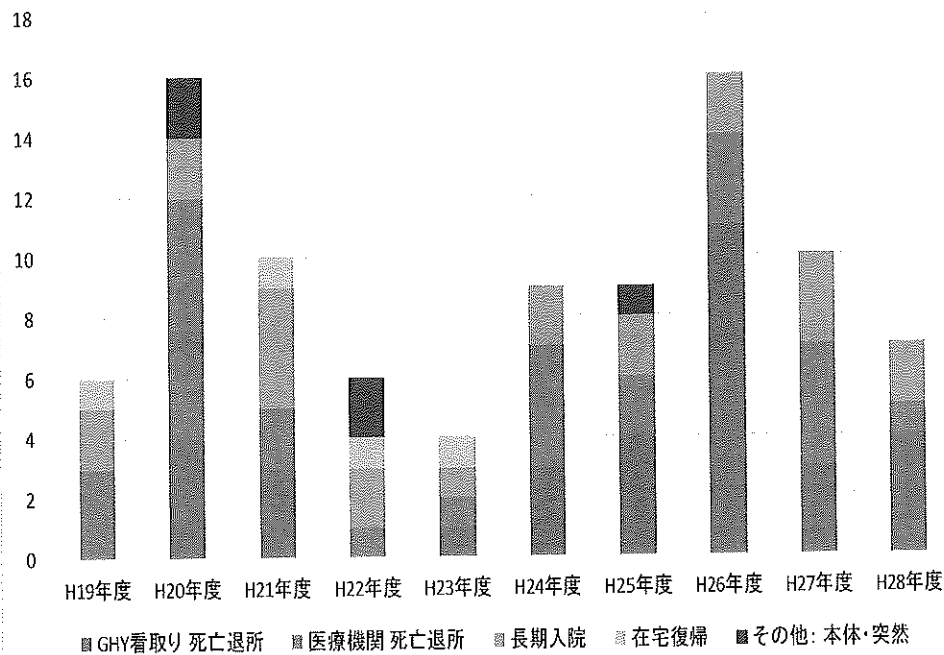
第2表 入院者数の推移(前年度比)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延人数	延日数	入院⇒永眠	入院3ヶ月越
H27年度	1	1	3	3	1		3	1	1	2	1	2	19	545	4	2
H28年度	入院	1		2			4			1	2		10	313	0	
	長期入院			1									1			1

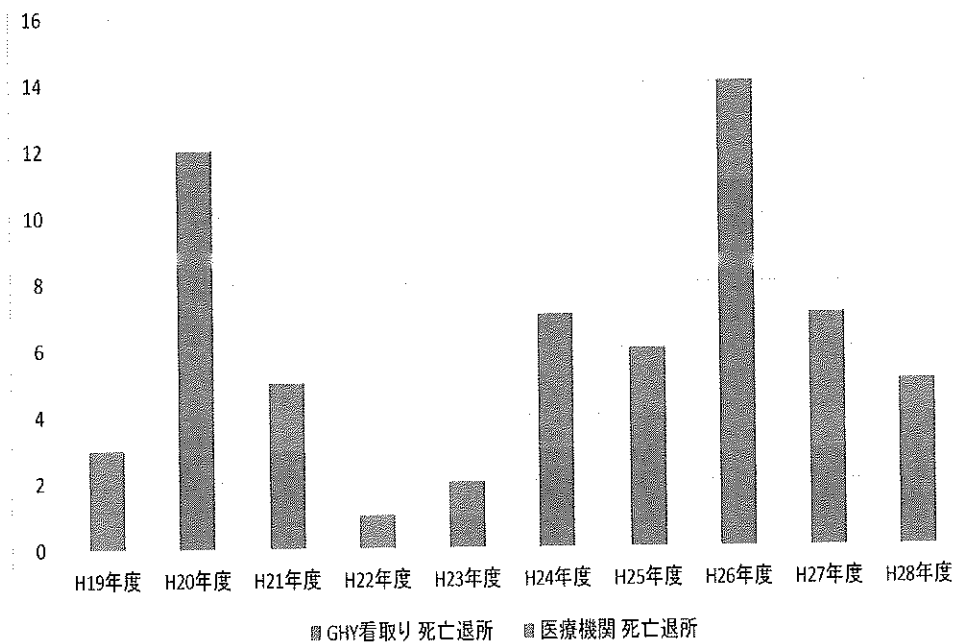
第5表 看取り介護等の履歴(開設当初より)

	GHY看取り 死亡退所	医療機関 死亡退所	長期入院	在宅復帰	その他: 本体・突然	合計			
H19年度	0	3	2	1	0	6	H19.10.1	~	H20.3.31
H20年度	4	8	2	0	2	16	H20.4.1	~	H21.3.31
H21年度	3	2	4	1	0	10	H21.4.1	~	H22.3.31
H22年度	0	1	2	1	2	6	H22.4.1	~	H23.3.31
H23年度	1	1	1	1	0	4	H23.4.1	~	H24.3.31
H24年度	3	4	2	0	0	9	H24.4.1	~	H25.3.31
H25年度	4	2	2	0	1	9	H25.4.1	~	H26.3.31
H26年度	11	3	2	0	0	16	H26.4.1	~	H27.3.31
H27年度	3	4	3	0	0	10	H27.4.1	~	H28.3.31
H28年度	4	1	2	0	0	7	H28.4.1	~	H29.3.31

グリーンヒル八千代台 退所者数(年度・退所理由別)



死亡退所者数(年度・場所別)



グリーンヒル八千代台 小規模多機能型居宅介護

【平成 28 年度 事業報告】

1. 目標

平成 28 年度の小規模多機能については、目標値である 26 名登録以上については、年間平均 28.67 名（稼働率 98.9%）と、想定以上の数値をだすことができました。常に利用者数の一定化を意識し、地域住民に密着した生活の支援・利用者及びご家族の満足度に重点置きながら行ってきた結果だと考えている。

急速に少子高齢化が進み介護サービスに対するニーズが増加する中で、求められる介護サービスを効率的かつ持続的に提供するため、人材の育成や勤務環境の改善等を通じて質の高い人材を継続的に確保するとともに、介護ロボットや情報通信技術（ICT）等を活用して介護サービスの質と生産性の向上を図るなどの取組が不可欠となっている。しかしながら人材不足という局面に事業所自体が陥っており、単に人手が足りないという数的不足だけを意味するのではなく、必要な場面で必要なスキルとモチベーションを備えた人材を確保できないという質の問題である。したがって、人材不足は、成長を妨げ、ひいては事業運営そのものに大きな影響を与える可能性をもっている。人の育成には時間がかかるし、意欲はうつろいやすく、今起こっている人材不足は、人材確保を重要な課題だと捉え、人の育成と活用を戦略的に行ってこなかったここしばらくのあり方の問題点が表面化していることから、法人本部との協働による急務の課題解決が必要と考えている。

2. 内容

① 小規模多機能稼働率向上の取り組み

- ・基本サービスに加え、配食・見守り・地域交流・家族支援等のニーズに対応した支援の実施し、サテライトとの協働による日常生活を支える面的仕組みの強化を継続し、より一層加速していくことが大切である。
- ・事業所内の他部署（特養・SS・居宅介護支援・訪問介護・栄養課・キッズルーム）・法人本部（特養・短期・通所介護・居宅介護支援など）や勝田台地域包括支援センター、八千代台地域包括支援センターとの多職種連携・協働を強化・実行がおこなえるようになってきているので連携関係をより強固のものにしていく必要がある。

② 人員配置とサービスの質

- ・職員の人員配置上は問題ないが人材資源不足及び定員の拡充により、サービスの質を維持していくことに苦慮しているが、27年度より「看護職員配置加算」「訪問強化加算」等の算定施設になった。引き続き人員基準を下回ることがないように適正配置される必要がある。
- ・業務をシンプルにし、簡略化することで組織を収益に直結した業務に集中させることを目的する必要がある。
- ・職員間の報告は客観的に伝え、主観的意見を伝える時は必ず「私は」とつけ話すようにすることで、お互いの気持ちや意見も「伝える」「聞いてもらう」という体制が必要であり、疑問や不安などについて解決策を自分自身も思考していくことが大切となっている。

③ サービス提供について

- ・一日の流れの中で午前中の体操は定着してきた、職員数によって提供できるプログラムは差があったが、ここ最近ではカラオケ機器導入により体操プログラムや口腔体操が安定して提供できメリハリあるプログラムを提供できるようになった。
- ・他部署の協力を得ながら業務に取り組むことができ、サービス内容についても有効な意見交換を交わすことができ、サービスの見直しにつなげることができた。

- ・職員の出入りもあり、情報の周知や共有に行き届かない点が増えてしまいました。来年度は情報の「発信・受け取り」をしっかりと確認すること、「報告・連絡・相談」の体制強化を徹底したい。
- ・ADLカードを特養・SSと同じ書式に変更しているため、情報共有のツールとして活用していきたいよう来年度も申し送りや会議等でしっかりと情報交換していきたいと考えている。

3. 平成 28 年度の稼働表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
月末登録利用者数	28	29	28	29	28	29	28	29	29	29	29	29	28.67
訪問平均回数/週	2.6	2.34	2.78	2.89	2.78	2.54	3.26	3.39	3.63	3.13	3.76	3.99	3.09083
通い平均回数/週	3.05	2.7	2.96	2.77	2.89	2.76	2.82	2.64	2.68	2.56	2.77	3.07	2.80583
泊まり平均回数/週	0.91	0.91	0.85	0.8	0.59	0.96	0.89	0.95	1.31	0.64	0.42	0.35	0.79833
訪問回数/月	320	289	334	365	372	315	404	419	443	400	437	539	386.417
利用回数計	808	735	792	817	807	776	864	863	930	809	808	954	830.25
当該月日数計	861	862	840	882	901	865	865	863	854	894	812	899	866.5
利用者一人当たり平均回数/週	6.56	5.96	6.6	6.48	6.26	6.27	6.99	7	7.62	6.33	6.96	7.42	6.70417
平均介護度	2.4	2.4	2.4	2.3	2.5	2.6	2.6	2.6	2.5	2.4	2.5	2.4	2.5
新規利用者数	1	2	0	1	2	1	2	2	6	3	1	0	1.75
登録中止利用者数	2	1	1	0	3	0	3	1	6	3	1	0	1.75
稼働率	96.6%	100.0%	96.6%	100.0%	96.6%	100.0%	96.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.9%
前年度稼働率	87.4%	96.6%	93.7%	95.2%	95.1%	96.6%	95.8%	99.0%	95.6%	100.0%	100.0%	98.1%	96.1%
前年度との比較	9.2%	3.4%	2.9%	4.8%	1.4%	3.4%	0.8%	1.0%	4.4%	0.0%	0.0%	1.9%	2.8%

小規模多機能型居宅介護サテライト グリーンヒル勝田台 【平成 28 年度 事業報告】

1. 目標

平成 28 年度のサテライトについては、28 年度平均介護度 1.3 であった。目標値である年間平均 12 名登録(目標稼働率 100%)については、年間平均(稼働率 99.3%)という結果となった。当初から予定していたサテライト事業として本体へのケース移行など安定して行なう役目を果たすことができ、本体(八千代台)が稼働率 98.9%となり昨年度よりもより一層、本体事業の安定化に寄与する役割が果たせていると考えている。

地域における高齢者の生活状況を把握し、支援する機能が地域包括支援センターに求められる昨今、当事業所としても機能、人材の拡充・強化を行うとともに、地方公共団体とのより一層の連携を進め、地域において高齢者が孤立することのないよう努めていく必要がある。また、地域の絆の再生が必要不可欠であり、都市部を始めコミュニティにおいては、近隣の間関係の希薄化等地域の絆の脆弱化が進んでいるため、地域住民が助け合う自治の心の再生が必要であり、そのために、住民が参画し、議論し、考えることが重要であり、地域で集まる場所を整備し提供することが求められ、単身高齢者のセーフティネット構築等の支援が必要である。

2. 内容

① 小規模多機能稼働率向上の取り組み

本体であるグリーンヒル八千代台との連携体制を整えていくと共に、中長期的な要介護状態の重度化の過程を把握することが求められている。地域のネットワークの中での『勝田台地域包括

平成 28 年度グリーンヒルキッズ事業報告
(障害児通所事業グリーンヒルキッズ)

1. 目標について

① 稼働率 年間稼働率 44.5%

稼働率減の原因

1. 開設の時期が新学年はじまり間際であったため、すでに利用事業所が確定している児童が多かったこと。
2. 学校関係者や保護者への周知が足りなかったこと。
3. 営業内容の宣伝媒体が乏しかったこと。

2. 内容について

稼働率向上の取り組みについて

上記の原因を再考し、1年間取り組んだ結果、年度末には、1日定員10名の利用となり、稼働率の上昇が見られるようになった。

平成29年3月現在 登録児童11名である。

3. サービス提供について

- ・定員10名であるが、欠席児童が予想されるため、1日12名を目標に利用申請を受けていく予定である。
- ・利用児童増に伴い、指導員の増員も必要となるため、人材雇用に努める。
- ・グリーンヒルキッズの特質である、『学習支援』『生活スキル向上のためのSST』の更なる充実をはかるため、職員の資質向上・スキルアップの研修をおこなうこととする。
- ・『父母の会』は、保護者の情報共有や情報交換の良い場となり、参加者も増え定着してきている。今後はこれをさらに発展させ、地域との連携につながる支援の一助にしていきたい。

平成 28 年度 勝田台地域包括支援センター事業報告

1. 勝田台高齢者状況

勝田台生活圏域 16,200 人、高齢者人口 5,616 人、高齢化率 34.3%となっており、平成 28 年度の独居人数 1254 人、介護認定者 713 人（要支援 238 人・要介護 475 人）。勝田台地域の高齢化が急速に進んでいるのではないかと考えられる。

2. 事務所来所者状況

平成 28 年度、地域包括支援センターに 1 年間来所した人数 1,244 人の来所実績となっている。実績数が以前より少ない数になっているがカウント漏れが原因と考えられる。相談者が同時間帯に重なることもあり、事務所が手狭でありプライバシーを尊重した対応になっていない時もあり対応に苦慮している。

3. 総合相談事業実績

1 年間の相談数 2,262 件（内訳 電話 1288 件・来所 488 件・訪問 472 件・その他 14 件）となっています。主な相談内容①介護保険に関する相談（1169 件）②医療・健康に関する相談（304 件）③認知症に関する相談（281 件）④介護に関する相談（132 件）となっている。相談者は、本人及び家族からの相談が多い。

4. 権利擁護の関する実績

虐待通報 4 件（延べ対応 106 件） 消費者被害の相談延べ 18 件ありその中には住宅リフォーム詐欺もあった。

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

○個別地域ケア会議 50 回開催。

リフォーム詐欺・生活困窮者の対応・判断能力が乏しい生活困窮者 他。

○地域包括支援センター啓蒙活動

・サンコーポ自治会（25 名参加）

・七和会（22 名参加）・民生委員・児童委員定例会議（月 1 回）・認知症

カフェ協力

・三世代交流ファミリーフェスタ夏祭り・お番茶の会・勝田台サロン・

・勝田台元気クラブ 月 1 回開催（延べ 230 名の参加）

・八千代高校と共催クリスマスイベント（約 100 個のプレゼントを訪問にて届ける）

○認知症の関する取組

・認知症サポーター養成講座・・・八千代市郵便局職員対象にて実施（6

包括共催）

・認知症カフェ開催協力

・お番茶の会にて『エンディングノート』の講話

○ケアマネ支援

- ・事例検討会（6 包括合同研修）
- ・生活圏域担当ケアマネに関する相談（延べ 2218 件）
- ・ユーアイやちよ勝田台 講演

○地域づくり

- ・わがまち元気プロジェクト in 勝田台（総合事業モデル）
- ・さるぼぼサークル後方支援

6. 介護予防ケアマネジメント事業

- ・いきいき教室 15 回開催（参加延べ 150 名）
- ・「八千代台元気づくりプロジェクト」6 包括合同出張相談会
- ・八勝園長寿会 口腔体操教室
- ・八千代フォーラム開催協力
- ・八千代医療センター主催「八千代健康フェスタ」協力

7. 地域連携のための会議

- ・運営推進会議
 - ①小規模多機能型居宅介護サテライトグリーンヒル勝田台運営推進会議
 - ②ニチイケアセンター八千代勝田台
 - ③デイサービス・元気庵勝田台
- ・民生・児童委員定例会議・・・毎月定例会参加
- ・八千代市高齢者虐待防止連絡会
- ・八千代市生活支援体制整備事業協議体会議
- ・包括支援センター各専門職会議

8. 介護予防（要支援 1. 2）プラン作成数 実績

1 年間の請求総数 1,929 件 地域包括延べ請求数 925 件 委託延べ請求数 1002 件

1 年間の新規 67 件となっている。要支援の認定者も増加しており委託事業所探しに苦慮している。

平成28年度 法人本部総務課 事業報告

- I 経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）に関する、有効活用・経費削減・適正管理を行う。
- II 職員の身体面および精神面における体調不良の予防及び早期発見に努める。

I-1 「採用・定着・育成」への対応

○多職種と協力しながら職員の採用・定着に向けた取り組みを強化する

採用・実習生との意見交換の場を設け関係づくりを構築する。（行事参加やアルバイト募集の案内等）

・求人媒体の積極活用（案 職種別の施設見学会の開催）

定着・永年勤続職員に対する表彰制度の検討を行う。

（案 獲得助成金を原資として活用）

⇒実績なし

○職員研修及び障害者雇用に対する助成金・報奨金制度を活用する。

*目標獲得額 3,298,000円 上方修正(+450,000円) ⇒ 3,190,000円

・キャリアアップ助成金 1,380,000円 ⇒ 1,322,000円

・キャリア形成促進助成金 280,000円 ⇒ 280,000円

・障害者雇用調整金 1,188,000円 ⇒ 1,188,000円

追加 キャリアアップ助成金 正規雇用転換コース 450,000円 ⇒ 400,000円

I-2 「物品（モノ）」の適正管理

○日用品・文房具の適正管理を継続して行い、不良在庫については過去実績を参照しながら削減を図る。

⇒H29.3.31 期末棚卸し 在庫 320,000円 (H28 370,000円)

I-3 「資金（カネ）」の適正管理

○定期的な取引がある業者の取引価格を見直し、適正化を図る。

⇒特養の介護用品担当者の提案にて GH 八千代台の寝具関係業者を見直し変更した。

○サービス事業ごとに毎月の収支状況を把握し、管理運営会議にて明確な報告を行い、適正な経営状態を目指す。

⇒毎月の予算管理、収支状況の把握に努め管理運営会議で報告・検討した。

- II ○定期健診結果に対し必要に応じて受診を促すことで健康管理に関する意識を高める。

○前年度実績を上回る生活習慣病検診（協会けんぽ）の受診者数を目指す。

*目標受診者 一般検診25名以上（平成27年度24名受診）

⇒H28年度17名受診（偶数年齢のみの検査希望による受診見送り）

○法令に基づき、年1回の「ストレスチェック」実施に向けた仕組みづくりを構築し、メンタルケアに取り組む。

⇒H28.9 実施済み

以上